

# いもち病（葉いもち）情報第2号

令和元年7月2日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病害虫防除室

県内多数の地域において葉いもちの感染好適日がありました。  
ほ場における発生状況に注意しましょう。

6月下旬の巡回調査では、葉いもちの発生は確認していません。イネいもち病発生予察用シミュレーションプログラム（BLASTAM）を用いた葉いもち感染好適日の判定によれば、6月24日では県内の多くの地域において、27日に蒲郡、30日に蒲郡と新城、7月1日に豊田と新城で感染好適日となりました（表）。いもち病菌に感染すると7日前後で病斑が形成され、10日から2週間で目立つようになります。コシヒカリ等、本病に抵抗性を持たない品種は注意しましょう。

6月27日名古屋地方气象台発表の1か月予報によれば、前線や湿った空気の影響を受けやすく、向こう1か月の降水量は多く、日照時間は少ない見込みです。本病の発病に好適な条件が続くため、本田の発生状況に注意し、発生を確認したらオリブライト1キロ粒剤、キタジンP粒剤、カスミン液剤などで防除しましょう。

表 BLASTAMによるいもち病（葉いもち）感染好適日の推定結果（6月17日～7月1日）

日付	尾 張				西三河		東三河			中山間	
	愛西	名古屋	大府	南知多	豊田	岡崎	蒲郡	伊良湖	豊橋	新城	稲武
6/17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/18	—	—	—	—	?	—	—	—	—	—	—
6/19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/22	3	—	—	7	—	—	—	6	4	—	—
6/23	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/24	9	④	●	●	④	●	8	●	2	●	●
6/25	—	—	—	—	—	—	④	—	—	—	—
6/26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/27	④	3	4	—	—	—	●	—	—	—	—
6/28	—	6	—	—	5	2	8	4	2	3	—
6/29	—	—	9	—	9	—	—	—	—	3	—
6/30	3	3	③	③	③	③	●	5	8	●	5
7/ 1	5	4	5	4	●	4	5	—	4	●	7

- ：好適条件（湿潤時間が長く気温も適当で、いもち病発生の好適条件が現れた）
  - ①：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が20℃未満）
  - ②：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が25℃以上）
  - ③：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤時間中の平均気温が15℃～25℃の範囲外）
  - ④：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤時間中の平均気温が比較的低く、その平均気温に必要な湿潤時間より短い）
- 数値：湿潤時間が10時間未満の場合の湿潤時間数
- ：好適条件なし（いもち病発生の好適条件が現れなかった）
- ？：判定不能